

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、財政投融資の機関貸付回収や消費税・法人税揚げなどの要因で、週前半に財政等要因の大幅不足日が集中したものの、無担保コールO/N加重平均は0.066~0.067%と狭いレンジでの動きとなり、特段の変化はなかった。ビッドは大手行から0.06~0.065%、地銀・証券業態から0.06%台後半。ターム物は証券業態からのロール案件が見られた程度。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは5日に3M物がオファーされ、応札額1,440億円と札割れの結果となった。米ドル資金供給オペは3日に1W物がオファーされたが、応札はなかった。

今週は、9日がTB3Mの発行超過要因、10日がTB6Mの発行超過要因で資金不足日となる見込み。13日には年金定時払いが予定されており、大幅な資金余剰日となる。当座預金残高は140兆円台を突破する見込み。12、13日には日銀金融政策決定会合が予定されている。

2. オープン市場

先週の短国市場は、足元金利の低下や海外勢の買いによって徐々に品薄感が台頭する展開となった。週前半は3M物が0.04%台後半での出会い。週後半にかけては0.04%台前半の出会いと低下基調での推移となった。5日の3M物入札は平均落札利回り0.0449%、按分落札利回り0.0461%と事前予想通りの結果。セカンダリー市場ではショートカバーから0.031%まで買い進まれる展開。6日の6M物入札はWI取引で0.033%の買い残が見られる中、按分落札利回り0.0359%、平均落札利回り0.0339%と堅調な落札結果となった。

先週のCP発行市場は、月初にあたるため発行件数が乏しく、発行総額は4,000億円程度(入札ベース)にとどまった。現レートが高止まりしているものの、発行レートへの影響は特段みられず、横ばい圏で推移した。a-1格銘柄では概ね0.09~0.10%近辺の出会いであった。なお、5月の発行残高は税の支払い・ボーナス・配当等の資金手当てから発行が膨らむことが予想されていたものの、有利子負債圧縮の動きから前月・前年を下回る13兆9873億円であった。5日にオファーされたCP等買入オペは平均落札利回り0.091%、按分落札利回り0.089%の結果。前回から500億円増額の4,500億円でオファーされ、応札可能銘柄も少なかったものの、足元金利の高止まりや月末償還玉のファンディングニーズから前回比上昇の結果となった。

今週の短国市場は、11日に2M物、12日に3M物の入札が予定されている。短国買入オペのオファー額にもよるものの、引き続き堅調な地合いが続くことが見込まれる。CP市場は先週よりは発行が膨らむことが予想されるものの、全般的には落ち着いた取引が見込まれる。CP等買入オペの按分レートや足元金利が高止まっているものの、ディーラー・投資家ともに玉確保のニーズが強く、発行レートは横ばい圏となろう。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で500億円程度の還収超見通し。財政資金は、9日のTB3M発行超過、10日のTB6M発行超過、13日の年金定時払いを中心に1兆8,200億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆8,700億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<9日>TB3M;償還49,100億円・発行57,000億円 <10日>TB6M;償還20,500億円・発行35,000億円/物価連動10Y;償還2,900億円<12日>流動性供給;発行3,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円/預保借入;新規1,000億円<13日>TB2M発行25,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
6/9 (月)	1,500	△ 14,800	△ 13,300	全店共通 (固) CP買入 社債買入 国債買入	△ 1,200 △ 200 △ 100	1,400	△ 100	△ 13,400
6/10 (火)	1,000	△ 13,000	△ 12,000			4,300 6,500	10,800	△ 1,200
6/11 (水)	0	2,000	2,000				0	2,000
6/12 (木)	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000				0	△ 2,000
6/13 (金)	△ 1,000	45,000	44,000				0	44,000
週間合計	500	18,200	18,700		△ 1,500	12,200	10,700	29,400

(注) 上表の6/9は日銀予想、6/10以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/9 (月)	1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 5月の消費動向調査(月次、内閣府 14:00) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)		
6/10 (火)	5月のマネーストック(日銀 8:50) 4月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50)	流動性供給 3,000億円 6/12発行	4月の米卸売売上高
6/11 (水)	5月の企業物価指数(日銀 8:50) 4-6月期の法人企業景気予測調査季報(内閣府・財務省共管 8:50)	TB2M 25,000億円 6/13発行	5月の米財政収支
6/12 (木)	4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 57,000億円 6/16発行	5月の米小売売上高 4月の米企業在庫
6/13 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 4月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30) 日銀総裁定例会見(15:30)	5Y 27,000億円 6/20発行	5月の米生産者物価指数 6月のミシガン大消費者信頼感 指数速報

6/12エネルギー対策借入 4,000億円 6/20借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。